

- 1 日時：令和4年4月23日(土) 16:00～18:00
- 2 場所：ZOOMによるリモート会議
- 3 リモート出席：(常)笠原勉、(常)綿貫啓、(常)庄司大介、(常)桜井裕一、(常)平野滋、(常)久一博世、(常)今村均、星崎紀一、竹内聖一、吉田倫夫、(常)齋藤寛(記録)、ゲスト出席：藤田孝康、岩佐直人、鳥本博靖 (常任幹事10名中8名出席、幹事3名出席、ゲスト3名出席)
- 4 打ち合わせ内容
 - ① 総会開催準備
 - ・4/13に会長にご挨拶に行き本年度の活動計画を報告、その中で本年度総会は7/2か7/9の14:00～17:00、高輪キャンパスでハイブリッド開催で調整することとなった。コロナ禍につき懇親会を開催しない方向。懇親会はWeb方式で開催すべきとの意見あり(会場参加者のWeb参加方法が課題)。
 - ・特別講演は札幌キャンパス海洋生物科学科の紹介の講演を想定し適任者で対応いただく。
 - ・札幌など関係先と調整時、会報第6号を配布したい。編集完成時期の確認。
 - ・詳細な開催準備は総会企画運営チームで検討する。会場の調整は高輪キャンパス窓口担当者の紹介待ち。
 - ② 会計報告と予算計画
 - ・令和3年度会計報告の説明。
 - ・予算計画は前回意見を受けた修正版の説明。活動協力金は前年度並みとする。
 - ・今回の予算計画は堅実路線+ α のレベルと認識(積立金取崩し、会場費、予備費など負担減の可能性あり)。
 - ③ 活動計画案
 - ・活動計画検討体制及び計画案の説明。1)総会の開催、2)見学会・講演会の開催、3)湘南OB・OG技術士と在学生の交流会、4)ホームカミングデーへの参加、5)札幌出前授業、6)湘南工学部土木・建築出前授業、7)会報第7号の発行、8)図書贈呈対応、9)HP改善・管理検討、それぞれの担当メンバーと検討ポイント説明。
 - ・講演会は会員向け(CPD対応)であるが、前回実績から在学生の参加を誘導することも検討する。
 - ・OB・OG技術士と在学生の交流会は大学のコロナ対応の判断と連動する開催検討が必要。
 - ・ホームカミングデーへの参加は、大学及び同窓会のコロナ対応の判断と連動する開催検討が必要。本会が担当するプレゼンは有意義な集客ができる開催方法(土木工学科との連携など)を検討・調整する。
 - ・札幌出前授業は担当者による事前調整を図る。
 - ・湘南工学部出前授業は土木工学科の学生のこれまでの意見からみて、建築設備より公務員の進路の講義を行った方がよいとの意見あり。会員で適任者を検討する。
 - ・海洋学部に対する活動は受入れ環境に課題あり。学部長、学科長に本会の実績の説明・陳情から始める。
 - ・HP改善・管理検討は費用のかかる対応の前に、まず現在のHPをもっと活用する検討(コンテンツの充実、Facebookの活用など)が重要との意見あり。
 - ④ その他
 - ・役員人事案の確認、総会に向けて了解された。
 - ・土木工学科・建築学科は建築都市学部としてスタートし工学部より理学部との関係が強い印象。東海グローバルフェスタ(地元の子供や親御さんに土木工学科のPR)への連携提案あり、3年生向けに6月頃技術士第一次試験の紹介活動の要請あり。今後先生と継続調整。
- 5 次回役員会 令和4年5月28日(土) 16:00～ Zoomによるリモート開催。